

11月20日に本学豊平キャンパスAV4教室にて、水

ネットワーク北海道が主催する講演会が開催された。

水道技術経営パートナーズ

株式会社山口岳夫

代表から「水道界に

おける公民連携の事

例と役割と具体例か

らみた公民連携のポ

イント」と題した

講演が行われ、水道

界における公民連携

の形成の背景や制度

の変遷が紹介された

あと、水道事業にお

ける公民連携を推進・

展開する上でのポイ

ントについて、過去

の事例を踏まえた考

察が示された。道内の地方水

道へ関心が高い産官学の関

係者が道内外から多数出席

し、同時配信されたオンライン

視聴者を含めて計114

人が参加した。

水ネットワーク北海道

は、道内各地で水インフラ

整備に関わる関係者のネッ

トワークを形成し、情報共

有とともに特に多くの

課題を抱える地方

の水インフラの今後

を議論できる場とな

ることをめざして、

2024年9月17日

に設立された。道内

各地で上下水道事業

や河川整備事業に関

する業務に従事する

本学土木工学科およ

び社会環境工学科の

卒業生約70名で構成

されるOB会「水ネッ

ト・山鼻」を母体と

している。会長は社会環境

工学科の山田俊郎教授、副

会長は安藤直哉准教授、幹

事長は余湖典昭名誉教授、

幹事には松井佳彦客員教授、

## 水ネットワーク北海道主催 講演会開催



多数の関係者が出席した

土木工学科OBの清野馨氏（石狩市）や斎藤貴視氏（岩見沢市）らが就任している。

この講演会の様子は、日本水道新聞と水道産業新聞の2紙に、水ネットワーク北海道の活動とともに掲載された。

水ネットワーク北海道の詳細はこちらから

